

18. 第 16 回高木レクチャーについて

高木レクチャー（2015 年 11 月，東京）の予定をお知らせいたします。

第 16 回の高木レクチャーは，小平邦彦生誕百年記念事業と連動して開催される予定です。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は，世界から卓越した数学者を日本に招聘し，専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし，創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき，日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は，査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日（日），中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され，2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来，これまでに 15 回の高木レクチャーが開催されています。

第 16 回高木レクチャー（予定）

日 時：2015 年 11 月 28 日（土）

～29 日（日）

場 所：東京大学大学院数理科学研究科

講演者：

- Fabrizio Catanese
(Universität Bayreuth)
"Kodaira Fibrations and Beyond:
Methods for Moduli Theory"
(小平のファイバー空間とその展開
—モジュライ空間の方法)
- Jean-Pierre Demailly
(Université de Grenoble I)
"Recent Progress Towards the
Kobayashi and Green-Griffiths-
Lang Conjectures"
(小林予想および Green-Griffiths-
Lang 予想の最近の進展)
- Masaki Kashiwara (柏原正樹氏)
(RIMS, Kyoto University)

"Riemann-Hilbert Correspondence for
Holonomic D-modules"

(ホロノミック D 加群に対するリーマン
=ヒルベルト対応)

• Shing-Tung Yau
(Harvard University)

"From Riemann and Kodaira to
Modern Development on Complex
Manifold"

(リーマンと小平邦彦から複素多様体論
の現代の発展へ)

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
斎藤毅，中島啓

主 催：日本数学会，
東京大学大学院数理科学研究科

協 力：Japanese Journal of Mathematics

高木レクチャーの HP

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/>

~toshi/takagi_jp/

で最新情報を掲載いたします。

JJM は，2006 年に 3rd Series として新しい創造を引き起こすような「研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました。広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。なお，数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円（+税 600 円）で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)